

サンパウロ・フォーラム宣言

ワーキング・グループ拡大会議

カラカス、2022年11月18日～19日

人類は、気候の異常事態、経済を中心とした多次元的な危機、社会的不平等、国際的な法治性の崩壊など、巨大な課題に直面している。国際経済秩序の不正は続き、多国籍企業による天然資源の露骨な収奪と富の取得は止まらないでいる。

ラテンアメリカ・カリブ海諸国は、新型コロナパンデミックがもたらした重大な後退を回復していない。そして、新たな貧困、不平等、失業、食糧安全保障の悪化、自然災害、インフレ圧力が現れているにもかかわらず、国際場裡、特にヨーロッパにおける深刻な出来事の影響を受けている。

革新政府により達成された社会的・政治的成果を覆し、「我らがアメリカ」に対する支配と覇権を行使しようとする帝国主義と寡頭制勢力の策動に直面し、各国国民の抵抗と闘いは、ラテンアメリカ・カリブ海において、国民の利益のための政策を展開し、主権とラテンアメリカとカリブの統合を守ろうとする革新的・左翼的勢力の選挙による勝利をもたらした。

革新政治勢力、左翼政府、社会運動、民衆運動、農民、労働者、女性、先住民、学生、青年組織間の団結を達成するために、ラテンアメリカ・カリブにおいて新しい形態の活動や協力が展開された。

A.- ラテンアメリカ・カリブ海諸国における最近の出来事は、国民の団結と英雄的な闘いが民主主義、主権、社会正義への水門を開くことを確認している。

B.- 我々は、今世紀初頭から現在に至るまで、経済と地政学の分野における変革を再開し深化させ、協同と連帯の新しい国際関係に基づいて、世界の民主的多極化への移行を加速する歴史的瞬間にいたのである。

C.- 2018年から今日までにラテンアメリカ・カリブ海で起きた人民勢力の選挙での勝利と社会的反乱は、大きな地球規模の課題に立ち向かうために共に行動する必要性を十分に認識させ、この地域の統合と団結の過程を再構築することが可能となっている新しい時代を示している。

D.- 参加民主主義と社会的権利を擁護する最も多様な形態の政治的同盟の形成は、ネオファシストの潮流がもたらす脅威に直面して達成できた団結を表すものである。ネオファシストは、法律と憲法の外に自らを置き、クーデター計画と不安定化を促進し、試み、実行するために自由に使えるすべての資源を利用するものである。

E.- 我々の地域は、大規模な生産力の発展に必要な物質的基盤を持っている。その天然資源は、現在の採取主義の観点から離れて、ラテンアメリカ・カリブ海諸国が世界経済で果たすことのできる新しい役割の重要な要素であり、我々は科学、技術、文化の分野で国家

間の協力を深めるために、また新たな現実を実現するために努力しなければならない。そのことは、政治的団結が今や必要なだけでなく緊急であることを示している。

2023年には、ホセ・マルティ生誕 170 周年、中米独立 200 周年、モンカダ兵営及びカルロス・マヌエル・デ・セスペデス兵営襲撃 70 周年、チリのサルバドル・アジェンデ大統領の人民連合政権に対するクーデター 50 周年、米国のグレナダ侵攻 40 周年、帝国主義的モンロー・ドクトリン宣言 200 周年など、地域の革新・左翼勢力の運動に貢献する重要な動機が存在している。

この意味で、サンパウロ・フォーラムは、カラカスでのワーキング・グループ拡大会議で、次のように宣言する：

1.- ブラジルのルーラ、コロンビアのグスタボ・ペトロ、ホンジュラスのシオマラ・カストロ、チリのガブリエル・ボリッチ、ペルーのペドロ・カスティージョ、ボリビアのルイス・アルセ・カタコラ、アルゼンチンのアルベルト・フェルナンデスの勝利を支持する。これらの勝利は、地域の政治地図を変更した。同時に、われわれは、アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール大統領が率いるメキシコの第四の変革を支持する。

2.- 我々は、右派勢力と帝国主義の攻撃に直面している、キューバ革命、ベネズエラ・ボリバル革命、ニカラグア・サンディニスタ革命との連帯を再確認する。

2.a. 我々は、米国政府がキューバ国民に対して課している経済・通商・金融封鎖の強化の即時解除を要求する。我々は、間違ったテロ支援国家リストから、キューバを除外するよう要求する。我々は、キューバ革命との連帯を再確認し、キューバの憲法秩序を破壊することを目的としたメディアの包囲と操作的なキャンペーンを拒否する。

2.b. 我々は、ニカラグア国民の主権と民族自決を堅持する闘争が、勝利して前進していることを全面的に確認する。我々は彼らの功績に敬意を表し、アメリカと EU の攻撃的な政策の即時停止と、自由で主権を持つサンディニスタのニカラグアに対する一方的な措置と封鎖の解除を要求する。

2.c. ベネズエラが現時点で経験している政治的安定、経済の漸進的回復、革命的民主主義の深化は、革命の過程の基本的主人公である国民の力が、軍民の結束と国民の愛国心が激しく発揮されていることの結果である。帝国主義と新自由主義右翼が打ち出した計画に対抗する国民的対話と抵抗によって、ベネズエラに対する政治的・外交的包囲網を突破し、封鎖に反対する国民的闘争を展開することが可能になった。ベネズエラは、協力、国民の団結、世界経済の均衡、平和を国際場裡において訴えている。

3.- 我々は、ロペス・オブラドール大統領が提唱し、ベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領が支持している、国際法の規範に則った、対話によるウクライナ戦争の交渉による、真剣、建設的、現実的解決のための提案を全面的に支持する。

4.- 我々は、特に我々の地域で深刻な貧困と社会的不平等を根絶するために、雇用の創出、すべての国民に対する国民皆保険、公的で質の高い教育の強化において、活動や意識形成のためのあらゆる能力を発揮して、大陸全体の計画の策定に貢献することを提案する。

5.- 我々は、Cop27 でルーラが発表した気候変動との戦いへのブラジルの復帰を歓迎し、グスタボ・ペトロ大統領とニコラス・マドゥーロ大統領がサミットで示した、人類が経験し

ている気候の緊急性に関する共通の立場への支持を表明し、アマゾンを守る我々の揺るぎない立場を改めて表明する。

6.- 我々は、ベネズエラとコロンビアの国交が再開された後、両国間で進行中の二国間の対話を支持する立場を表明し、コロンビア共和国の「歴史的条約」政府によって遂行されている全面和平過程への連帯を表明する。

7.- 我々は、来年ブエノスアイレスで開催されるラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体 (CELAC) の次回首脳会議が最大の成功を収め、我々の地域における統合の過程を更新し続けるためにあらゆる努力を払うことを約束する。我々は、2014年にハバナで開催された CELAC 第 2 回首脳会議で各国首脳が承認した「ラテンアメリカ・カリブ海平和地帯宣言」への支持をあらためて表明する。

8.- 我々は、南米諸国連合 (UNASUR) の再生を促進するという、この地域の元指導者や知識人の提案に賛成する。

9.- 我々は、困難を克服し、巨大な課題に直面することに成功した「我々がアメリカ諸国人民ボリバル同盟 (ALBA-TCP)」の政治的団結と協力によって行われた旺盛な作業を評価する。

10.- 我々は、Covid-19 の大流行に対するキューバ政府と国民の連帯を高く評価し、キューバ科学の模範的な成果として、3 種類のワクチンの開発を評価する。

12.- 我々は、プエルトリコ人民の民族自決と独立に対する我々の歴史的な支持を確認する。

13.- 我々は、マルビナス、サウスジョージア、サウスサンドウィッチ諸島および周辺海域の主権を要求するアルゼンチンを完全に支持することをあらためて表明する。

14.- 同様に、我々は、カリブ海の兄弟諸国が公正で特別な、異なった待遇を受ける権利に対して、我々の支持を再確認し、植民地主義および奴隷制の損害に対する賠償請求を支持する。

15.- サンパウロ・フォーラムは、ハイチ国民支持し、ハイチでの新たな軍事使節団への反対を支持する。ハイチに対するいかなる行動も、国民によって民主的に選ばれた政府による主権と自決権を保障するものでなければならない。

16.- 我々は、アルゼンチンのクリスティーナ・フェルナンデス・デ・キルチネル副大統領に対する暗殺未遂事件を最も強い言葉で非難する。

17.- 我々は、すべての政治勢力、国および地域の議会に対し、a) 対外債務の問題、b) 共通のマクロ経済安定化基金の創設の必要性、c) 南銀行 (バンコ・デル・スル) の開業、d) 地域生産チェーンの形成可能性の研究、e) 共通の科学技術研究の場の構築、および f) 我々の国家間の貿易の増加について共同で議論することを提案する。

18.- 我々は、ラテンアメリカ・カリブ海諸国の民主主義を破壊しようとするネオファシスト潮流に反対する。その潮流は、実に多岐にわたり現れており、とりわけ、国民の政治指導者に対する企業メディア・グループのキャンペーン、革新的政党と指導者に対する司法機関の操作に現れている。

19.- 革新政府の社会政策は、その効果と正当性を示した。革新政府の経験は、IMF と世銀の新自由主義的処方箋の限界と無能力さを明らかにした。これに対して、ラテンアメリカの国民は強力な社会運動の中で立ち上がり、あらゆる分野での闘いが、国民と革命的勢力の模範的勝利とともに、選挙の場でも表現された。

20.- 近年、右翼が革新的左翼勢力から政権を奪った国々で経験した後退は、社会正義と民族の利益を守るために団結、結束、活動、動員、国民の参加を維持する必要があることの紛れもない証拠である。

21.- 我々は、左翼政党と社会運動の政治的結合の場として、主権、参加民主主義、平等、社会正義のために闘うすべての民主的潮流と大衆的組織の団結という決定的な任務を果たすものである。

ワーキング・グループ

サンパウロ・フォーラム

(訳 新藤通弘)

解題

サンパウロ・フォーラムのワーキング・グループ拡大会議は、11月18~19日、カラカスでラテンアメリカ・カリブ海諸国の22カ国から65の組織が参加して開催されました。サンパウロ・フォーラムは、ラテンアメリカ・カリブ海諸国の左翼・中道左派政党が参加し、登録しており、政党・運動組織は、27カ国、123政党・組織に上ります。ワーキング・グループ拡大会議は、全体会議ではありませんが、2019年7月に第25回会議が開催されていませんでしたが、現在の複雑な国際情勢の中で、22カ国から65の組織が参加して開催されたことは、評価されてもよいかもしれません。

現在最大の論争点となるウクライナ問題では、宣言の第3項で、「3.- 我々は、ロペス・オブラドール大統領が提唱し、ベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領が支持している、国際法の規範に則った、対話によるウクライナ戦争の交渉による、真剣、建設的、現実的解決のための提案を全面的に支持する」という形でまとめられています。あくまで、対話による問題解決を提起しており、地域の左派勢力の共通の政策となっています。

(2022年11月22日 新藤通弘)

